

現代版

宝珠山紀行

歌詠みと風景画を徒然に

甘木歴史資料館に『宝珠山紀行』という、慶応3年(1868年)に石松元啓と長子で山家宿代官の元周夫婦及び女中2人など二行6名で、岩屋権現の祀られている宝珠山に旅した絵入りの紀行文が残されています。行きは陸路で、帰りは杷木渡し場から高瀬船で筑後川を下り渡し場から上陸して山家へ帰る小旅行です。幕末の争乱期に、悠々自適に旅したこの小旅行を追体験することで、風光明媚な『あさくら』の田園や景勝地を堪能し、その風情に触れることで、『あさくら』の隠れた魅力に出会えるかもしれません。徒然に歌を詠み、風景を描く。これまた楽し。

第二日目



菱野の三連水車(朝倉市) MAP D-4

寛文3年(1663年)堀川ができた際、筑後川に山田堰をつくり、「堀川」に取水したが上流の菱野・古毛の一部では土地が高いため、堀川の恩恵を受けることができませんでした。そのためにこの地では自動回転式の重連水車が設置されました。歴代の水車大工が守ってきた水車群は、勇壮な姿と精緻な構造、揚水能力のすべてにおいて日本の水車技術の到達点と言われています。



堀川用水沿い散策(朝倉市) MAP D-4~D-3

堀川用水は、水神社のたもとに寛文3年(1663年)に設けられた山田堰から取水し、本線を含めて88kmの水路が朝倉市の田園を潤しています。筑後川の川幅を斜めにせき止めた取水口の山田堰から始まり、高所の田畑に水を送る重連水車、多くの歴史的な名所、コスモスなど季節を彩る草花等が堀川用水沿いに連なり、「あさくら」らしいのどかな田園景観を体感できます。



山田堰(朝倉市) MAP D-5

寛文3年(1663年)筑後川に設けた堰から水を引き150haの新田が開発されました。その後更に開田をすすめ水量を確保するため取入口を変更し、岩盤をくり抜いた切貫水門となっています。山田堰は度重なる洪水によって崩壊や流失に遭いましたが、その度に修復され現在も筑後平野の灌漑に貢献しています。



水神社(朝倉市) MAP D-5

最初の山田堰が造られてから60年後の享保7年(1722年)に筑後川に突き出していた恵蘇山塊をくり抜き、切貫水門から堀川用水に取水する大工事が行われました。当時の堀川下流各村の農民が工事の安全と水難消除のために神社を建立して守護神「罔象女神」を祀ったのが現在の水神社の始まりです。



普門院(朝倉市) MAP D-5

普門院は、旧杷木町志波の麻底良山麓の静寂な場所にひっそりとたたずんでいるお寺です。天平19年(747年)聖武天皇の勅願を受け、行基が筑後河畔に創建したものが、度重なる水害のために現在地に移築されたものと伝えられています。



円清寺(朝倉市) MAP D-5

黒田藩草創の重臣栗山備後利安が、主君黒田如水の死亡した慶長9年(1604年)に、その冥福を祈るために建立した寺であり、如水の法号龍光院殿如水円清大居士からって、龍光山円清寺と名付けられたものです。

モデルルート

- 第一日目
 - 堀川用水散策
 - 菱野の三連水車
 - 水神社・山田堰
 - 【昼食】
 - 志波の古刹巡り
 - 普門院・円清寺
 - 【宿泊】
- 第二日目
 - 宝珠山散策
 - めがね橋(金剛野・奈良尾・松尾)
 - 【昼食】
 - 岩屋の名勝巡り
 - 岩屋公園・岩屋神社
 - 竹地区の柵田

